

# ★ ラインマイン応用科学大学

Hochschule RheinMain University of Applied Sciences  
Wiesbaden Rüsselsheim

ドイツ連邦共和国

●学部学生 約12,000人 ●教職員 約740人  
ホームページ <http://www.hs-rm.de/de/>

交流協定締結年月日：2002年9月23日 主管学部：経済学部

## 国際交流の特色

ラインマイン応用科学大学があるヴィースバーデン市は人口30万弱で、ヘッセン州の州都です。ドイツの空の玄関フランクフルト国際空港から電車で約40分のところにあります。古来より温泉保養地として国内外に知られています。また、周辺のラインガウ地方はドイツ最大のワイン産地としても有名です。

ラインマイン応用科学大学は1971年に近隣の各種専門学校を統合して大学に昇格した比較的新しい大学で、香川大学と交流のあるヴィースバーデン・ビジネス・スクールのほかに、工学系、社会科学系等の5学部があります。ヴィースバーデン市内の本部、ビジネス・スクールのほか、郊外のリュッセルスハイム（自動車メーカー、オペルの本社がある）にもキャンパスがあります。2023年9月には、ビジネス・スクール副学部長のマリナ・グルシェヴァヤ先生が本学を公式訪問され、さらに交流を深化させているところです。

香川大学経済学部はラインマイン応用科学大学と学生の相互派遣（1～2学期間）を行い、さらに2012年度からは、「（特）海外研修（ドイツ）」の講義で2～3月に1週間、現地で語学研修も行っています。ラインマイン応用科学大学の学生が市内観光などに同行してくれて友情を育むことができ、国際交流を実践しています。先方からは日本語履修学生、本学からは海外研修の参加学生を中心に、相互に毎年1～3名程度、長期留學生を輩出しています。（※2020年度から海外研修は中止しておりましたが、2024年度以降、再開します。）

## 交流実績（令和3年度～令和5年度）

	R3	R4	R5
学生の受入	0	0	3
学生の派遣	0	0	0
大学訪問者数	0	0	1
オンライン交流参加者 (本学)	0	0	0
オンライン交流参加者 (相手機関)	0	0	0



## 派遣学生より

私が大学3年の後期から半年間、留学していたWiesbadenのRheinMain大学では、世界中から学生が集まりとても充実した生活を送ることができます。ドイツ語の授業はドイツ語で、ビジネスの授業は英語で受講し、授業のほとんどでディスカッションやプレゼンテーション、質疑応答を行います。当初は不安だったのですが、ドイツ人学生や他の留學生が助けてくれて、授業をきっかけに多くの友人を作ることができました。様々なルーツを持つ学生と話し合いながら授業を進めていくことで、多くの考え方や見方に触れることができ視野が広がったと感じています。日本語クラスのお手伝いをする中で、タンデムパートナーを見つけることもでき、語学力を伸ばすこともできました。

また、学業の面だけでなく生活の面でも、とても充実した時間を過ごすことができます。学生証を提示することで、街にあるコンサートホールの入場料や公共交通は無料で利用できるため、とても暮らしやすかったです。オペラやバレエ、オーケストラなどの公演も無料で楽しむことができました。Wiesbadenは古くから栄えていた保養地なので、街や建物自体にも歴史があり、ヨーロッパの文化に触れることができます。さらにドイツはヨーロッパの中心にあるため、他の国への行き来がとても簡単で、周辺国へ旅行ができるのも、とてもよかったです。

言葉や気持ちが伝わらず辛いこともありましたが、それ以上に多くの経験を得ることができ、本当に素晴らしい半年間となりました。勉強だけではなく、世界中に友人ができ、プライベートでもかけがえの無い思い出を作ることができるので、留学をおすすめします。



経済学部 佐々木理那